

平成26年度の主な取組の実施状況

1 大柱1 魅力ある観光地の形成

(1) 周遊型・滞在型旅行商品開発・観光PR事業

「水の観光」や「新たな観光の核づくり構想」認定地域など、神奈川ならではの観光資源を活用した県内周遊型・滞在型の旅行商品を旅行会社とのタイアップにより開発し、全国規模での観光PRを展開した。

(34企画の旅行商品を開発し、「いいじゃん!!神奈川ツアー」を全国にPR)

(2) 着地型旅行商品販売促進事業

地域ならではの資源を生かした旅行商品(着地型旅行商品)の磨き上げ・改善を支援するとともに、モニターツアーによる検証やマッチング商談会を実施することにより、着地型旅行商品の販売を促進した。

【主な取組】

ア 着地型観光の考え方を学ぶ講座の開催(2回)

イ アドバイザー派遣(40回)

ウ モニターツアーの実施(5回)

エ PR研修の開催(1回)

オ マッチング商談会の開催(1回)

(3) かながわシープロジェクトの推進

「海のかながわ」を総合的にプロデュースし、かながわの海の新たなステージに向けての環境・基盤を創出し、海の魅力づくりに取り組んだ。

【主な取組】

ア プロデュース会議の開催(8回)

イ プロデュース会議報告書の作成

ウ かながわシープロジェクト「Feel SHONAN」ウェブサイトを開設(10月~)

(4) 新たな観光の核づくり

「新たな観光の核づくり構想」の早期実現のため、引き続き国内外に向けた積極的なPR支援を行うとともに、平成26年度に創設した「新たな観光の核づくり等促進交付金」を活用し、それぞれの地域における先導的な取組を支援した。

【主な取組】

ア 新たな観光の核づくり事業

・3地域(城ヶ島・三崎地域、大山地域、大磯地域)PRポスター及びPR動画を作成

・アドバイザー委員による現地視察(11月大山地域、1月大磯地域)

イ 新たな観光の核づくり等促進交付金による支援(採択数:8団体10事業 交付決定額99,956千円)

(5) 商店街観光ツアーの推進

商店街団体等を構成員とする「かながわ商店街観光ツアー委員会」がコーディネート役となり実施する商店街観光ツアーの広報宣伝を支援した。

【主な取組】

- ア 15商店街に対する補助
- イ 商店街観光ツアーの実施(21回 参加者数493名)

(6) 文化芸術によるにぎわいの創出 - 「マグカル」の展開

文化施設、観光スポット、各種イベントなどの資源を活用し、文化芸術の魅力を活かしたまちの賑わいづくりを進めるため、平成24年度から取り組んでいるマグカル事業について、その発信力を強化するとともに、舞台芸術人材を育成する講座を開催するなど、マグカル・ブランドの向上を目指した取組を行った。

【主な取組】

- ア マグカル・テーブルの開催(2回)
- イ マグカル・ネット(マグカル ドット ネット)による情報発信
- ウ マグカル・イベント等の開催(42回)
- エ 舞台芸術人材の育成(マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミーの開催)
- オ カナガワ リ・古典プロジェクト(江の島)の開催(平成26年10月4日)

(7) 医食農同源の取組みとの連携の推進(県西地域「健康づくり・自然体験」推進事業)

豊かな地域資源を生かし、平成25年度に開発した健康レシピや健康プログラムを効果的に取り入れた健康づくり・自然体験ツアーの旅行商品化を支援した。
(モニターツアーの実施(足柄上地域及び西湘地域各1回))

(8) 共同観光キャンペーン推進事業

県、市町村、各観光協会、民間事業者が連携して、観光キャンペーンを実施することによって、観光振興への気運やPR効果を一層高め、県内外からの観光客の増加を図った。また、観光振興に関する表彰制度「かながわ観光大賞」により、地域における観光振興の取組を促進した。

【主な取組】

- ア 圏央道開通(相模原愛川IC~高尾山IC)の効果を活かした、北関東方面からの誘客に力点を置いた観光キャンペーンの実施(高速道路会社と連携した観光キャンペーン、包括協定を活用した観光キャンペーン等計13回)
- イ かながわ観光大賞の実施(応募件数:13件、表彰団体:5団体)

(9) 地域連携による三浦半島観光振興事業

管内市町、商工会議所、観光協会等と連携しながら、三浦半島地域の発信すべき魅力の整理を行うとともに、観光サイトの充実化を図り、観光マップの改訂等を行った。

【主な取組】

- ア 三浦半島地域の魅力を紹介する短時間の動画を撮影・編集し、ホームページで公開(33本)
- イ 三浦半島地域を訪れる日本人及び外国人観光客に向けた「三浦半島ガイド&マップ」(日英併記版)作成(40,000部)

(10) 『旅たび相模』魅力発信・観光振興事業

豊かな自然のもとに、“水”や“緑”のアウトドア拠点など多様な地域資源が存在する県央地域の特性を生かして、「何度も訪れたいくなる、魅力あふれる県央」としてさらなる観光振興を図るため、地域の特色を生かした観光の推進と多角的な観光プロモーションによる魅力の発信を行った。

【主な取組】

- ア 旅たび相模 VISUAL PROMOTION
 - ・県央地域観光CMプロジェクト
 - CM動画「行こうよさがみ！」を作成し、神奈中バス・あつぎビジョン(本厚木駅)での放映や、県ホームページに掲載
 - ・観光ポータルサイトによる情報発信
- イ 県央地域観光推進フォーラムの実施
 - テーマ「地域活性化のための活動・事業の発展を考える もう一歩進めるために」(平成27年2月26日 参加者 37名)

(11) 湘南地域の観光振興の推進

湘南地域全体の魅力アップを図り、管内の周遊性を高める観光振興策を展開するとともに、「新たな観光の核づくり構想」として認定した大山地域及び大磯地域の観光振興に資する取組を実施した。

【主な取組】

- ア 観光ガイドブックの作成(「湘南花散歩」の全面改訂(20,000部))
- イ 新たな観光の核づくりPR用物品の作成
 - 大山地域:絵とうろう(4基)、ポスター(150部)など
 - 大磯地域:フェイスタオル(600枚)、のぼり旗(30枚)
- ウ 大学連携事業
 - 学生による大山・大磯地域における観光資源等のモニタリング(夏・秋)及び意見交換会を実施
- エ 「外国人観光客おもてなしガイド」の作成(1,500部)及び外国人観光客おもてなし講座開催(平成27年2月25日 参加者 52名)

(12) 県西地域周遊促進事業

県西地域の観光施設等20施設を結ぶデジタルスタンプラリーを実施し、参加者による地域内の周遊を促進した。(平成26年8月1日～31日)

2 大柱2 外国人観光客の誘客促進

(1) 外国語版ホームページ運営事業

海外向けに国別の観光客の嗜好に沿った情報を提供する観光ホームページを運営し、インターネットを通じて本県の観光魅力を発信した。

(新規掲載情報：100件、発信言語数：4言語<英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語>)

(2) 海外プロモーション強化推進事業

外国人観光客の更なる誘客促進に向け、海外の観光展への出展や商談会の開催、海外の旅行会社及びメディアの招聘事業など、国別の市場特性等に応じた誘客活動を実施した。

【主な取組】

- ア 海外旅行会社、メディアの招請(8回)
- イ 国際観光展への出展(7回)
- ウ インバウンドに関するセミナーの開催(1回)

(3) 羽田観光情報センター設置運営事業

首都圏の6県市が、羽田空港国際旅客線ターミナル内に設置した観光情報センターを共同で運営し、観光や交通に関する情報提供を通じて、外国人観光客の誘客促進を図る。

【主な取組】

- ア 羽田空港6県市観光情報センターの運営
- イ ビジットジャパン地方連携事業のFAMトリップにおいて、観光情報センターを紹介

3 大柱3 観光関連産業の成長促進

(1) アンテナショップ新規展開事業

県産品のより一層の販路拡大を図るため、東京都心部において本県のアンテナショップを試行的に期間限定出店するとともに、マーケット調査を実施した。

(東京都港区六本木に「神奈川マーケット」を出店(平成26年8月1日～9月30日 総展示品目数：225)

(2) 名産品海外販路拡大支援事業

アジアの中で市場が成熟している香港において県産品の販路拡大を図るため、国際食品見本市に出展するほか、台湾では、県産農水産品・加工品等に関する物産展を開催した。

【主な取組】

- ア 「香港FOOD EXPO 2014」への出展（香港 5者出展）
- イ 「神奈川物産展 2015 in 台中」の開催（台湾 8者出展）

(3) かながわ名産展事業

遠隔交流県である鹿児島県において、当地での物産展にあわせ、本県の魅力をアピールするイベント等を実施した。

【主な取組】

- ア 伝統工芸品、鹿児島「大島紬」と神奈川「横浜スカーフ」によるコラボスカーフの開発、発表、PR
- イ 「かながわレストランフェアメディアレセプション」の開催

(4) 観光プラットフォーム推進事業

宿泊・観光施設、交通等の観光事業者、観光関係団体、商工会・商工会議所等が連携して、総合的な観光の推進体制を運営するとともに、大学等との連携による観光人材の育成を図った。

【主な取組】

- ア かながわ移動観光大学の実施（3か所）
- イ 観光大学シンポジウムの開催（1回）
- ウ 「観光立県かながわ推進連絡会議」の開催（2回）